

# 第 51 期 事 業 報 告 書

〔 平成24年 4 月 1 日から平成24年 7 月31日まで 〕

**財団法人 明治安田厚生事業団**

東京都新宿区西新宿一丁目 8 番 3 号

# 目 次

I. 第51期（平成24年4～7月）概況	1
II. 事業別概況	2
III. 貸借対照表	7
IV. 正味財産増減計算書	10
V. 財産目録	14
VI. 評議員会に関する事項	17
VII. 理事会に関する事項	20
VIII. 出版に関する事項	23
IX. 寄附に関する事項	23
X. 公益財団法人 明治安田厚生事業団 第1期（平成24年8月～平成25年3月）事業計画	24
XI. 同 事業別計画	25
XII. 同 収支予算書	27

## I. 第51期（平成24年4～7月） 概況

平成24年8月1日をもって弊事業団は新公益財団法人へ移行した。特例民法法人最後の事業年度となる第51期は、平成24年4月1日から平成24年7月31日までの4ヶ月決算となったが、引き続き明治安田生命グループの社会貢献活動の一翼を担うべく、広く一般の健康増進に寄与するため、以下の活動を展開した。

体力医学研究事業では、「運動を活用した心身の健康増進」に関する研究活動を推進した。「運動が脳機能・睡眠・ストレスに及ぼす影響」ならびに「ライフステージに応じた運動の効果」について検討し、当期の学会発表、論文、報告書の総数は11題を数えた。研究助成事業では、第29回健康医科学研究助成の公募を開始し、今回より電子申請システムを導入した。さらに、東日本大震災の被災地にて運動を活用したメンタルヘルスケアの支援活動を継続実施した。

ウェルネス事業では、「社会に貢献できる健康づくりコンサルタント活動」に注力した。特に「健診からはじめる健康づくり」として、健診センターの人間ドック受診者を対象に生活習慣病の予防・改善を目的とする健康づくりプログラムを引き続き実施したほか、新たに乳がん術後の健康づくり支援プログラムを開始した。さらに、「まごころ健診」<sup>(注)</sup> 受診者に対する健康づくり支援プログラムを継続実施するとともに、避難先にて健康度測定および相談会を開催した。これらの活動総回数は177回、参加者総数は756人であった。

健康調査事業における調査研究業務では学術室との協働で、体力医学研究事業ならびにウェルネス事業との三位一体態勢による、人間ドックのデータを活用した研究デザインの構築に注力した。また、人間ドック業務では、健診センターの質の向上と人間ドック以外の健診コースの効率化、ならびに住民健診を定着化するための態勢づくりを目指した。その結果、人間ドックの受診者をはじめ、その他のコース受診者も増加し、総受診者数は前年同期（平成23年4～7月）を250人上回る4,880人となった。なお、東日本大震災の被災者支援として「まごころ健診」<sup>(注)</sup> を継続実施した。

(注) 「まごころ健診」：東日本大震災の影響により新宿区に避難されている被災者を対象とした無料の健康診断

## Ⅱ. 事業別概況

### 1. 体力医学研究事業

#### 1. コアスタディー 「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」

- ア. 運動と脳機能
- イ. 精神疾患と運動療法
- ウ. 低強度運動が生理応答に及ぼす影響
- エ. 抑うつに及ぼす職業性ストレス・身体活動の影響

#### 2. 研究室別研究

- ア. 基礎実験研究室
  - ・ストレス反応の客観評価
  - ・保育環境と外傷
- イ. 応用実践研究室
  - ・運動支援ボランティア活動の効果

#### 3. 外部機関との共同研究

- ア. 運動の社会的効果に関する研究
- イ. 職域におけるストレス対策

#### 4. 学会・研究会活動

- ア. 研究発表
  - ・コアスタディー：5題
  - ・研究室別研究：3題
  - (1) 国内学会（合計4題）
    - ・日本健康教育学会：1題
    - ・日本産業衛生学会：2題
    - ・日本運動生理学会：1題
  - (2) 国際学会（合計4題）
    - ・European College of Sport Science：2題 (Belgium)
    - ・Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education：2題 (Taiwan)
- イ. 論文・報告書などの出版
  - ・コアスタディー：2題
  - ・研究室別研究：1題

#### 5. 健康医科学研究助成

- ア. 第29回健康医科学研究助成の公募案内を開始
  - ・電子申請システムの導入

## 6. その他の活動

- ア. 東日本大震災の被災地にてメンタルヘルスケアの支援活動を実施
- イ. ホームページによる情報提供
- ウ. メディアへの情報提供

## 2. ウェルネス事業

<b>1. 健康・体力づくり実践指導活動</b>	<b>合計活動数</b>	<b>174回</b>
	<b>合計参加人数</b>	<b>648人</b>
ア. 健康度測定・相談		
・「運動健診」	開催数	23回：参加人数 44人
・「生活改善健診」	開催数	11回：参加人数 16人
イ. 健康づくり支援		
・「健康支援室」	開催数	79回：参加人数 321人
・「健康づくり相談」、他	開催数	4回：参加人数 4人
ウ. 特定保健指導	開催数	12回：参加人数 12人
エ. 運動実践プログラム		
・「MYヘルスプログラム」	開催数	33回：参加人数 220人
・「ヘルスアップMYレージ」		登録者数 25人
・被災者支援「リラックス&リフレッシュ」		
	開催数	2回：参加人数 2人
・乳がん術後支援「健康づくりプログラム」		
	開催数	8回：参加人数 21人
オ. その他	開催数	2回：参加人数 8人
<b>2. 健康づくりコンサルタント活動</b>	<b>合計活動数</b>	<b>3回</b>
	<b>合計参加人数</b>	<b>108人</b>
ア. 行政への保健事業の支援		
・新宿避難者支援	開催数	2回：参加人数 18人
イ. 企業、団体、機関などへの健康づくりに関する支援		
	開催数	1回：参加人数 90人
<b>3. 総計</b>	<b>総活動数</b>	<b>177回</b>
	<b>総参加人数</b>	<b>756人</b>

### 3. 健康調査事業

#### 1. 男女別・年齢階級別受診者数（4～7月） （単位：人）

	男 性		女 性		合 計	
	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
	受診者数 (%)					
60歳以上	578 (24.7)	583 (23.9)	559 (24.4)	546 (22.4)	1,137 (24.6)	1,129 (23.1)
50～59歳	542 (23.2)	578 (23.6)	511 (22.3)	565 (23.2)	1,053 (22.7)	1,143 (23.4)
40～49歳	673 (28.8)	714 (29.2)	619 (27.0)	682 (28.0)	1,292 (27.9)	1,396 (28.6)
35～39歳	251 (10.7)	244 (10.0)	259 (11.3)	266 (10.9)	510 (11.0)	510 (10.5)
30～34歳	172 (7.4)	200 (8.2)	188 (8.2)	207 (8.5)	360 (7.8)	407 (8.3)
29歳以下	123 (5.3)	125 (5.1)	155 (6.8)	170 (7.0)	278 (6.0)	295 (6.0)
合 計	2,339 (100.0)	2,444 (100.0)	2,291 (100.0)	2,436 (100.0)	4,630 (100.0)	4,880 (100.0)

当期の事業報告は、その期間が4月から7月であるため、平成23年度の受診者数も当該期間に対応した数字を表記した。

- (1) 受診者数は4,880人で前年同期よりも250人増加した。
- (2) 男女別の増減では男性が105人、女性が145人それぞれ増加した。
- (3) 男女別の受診者占率は男性が50.1%、女性が49.9%と前年同期より女性の占率が若干上昇し、男女比率もほぼ同率となった。
- (4) 年齢階級別の受診者占率は、40歳代以上が男性76.7%、女性73.6%と受診者のおよそ3/4を占めており、その傾向は前年同期とほぼ同じであった。

#### 2. その他受診者に関する事項（4～7月）

- (1) 一般と契約団体（健保等）との比較  
一般が264人（占率5.4%）と、前年同期の262人（同5.7%）同様、契約団体を中心とする受診者構成であった。
- (2) 継続・新規受診者  
継続受診者数は4,008人（同82.1%）で、前年同期の3,709人（同80.1%）に比較して299人（2.0%）増加。一方、新規受診者数は872人と前年同期（921人）に比較して49人減少した。
- (3) まごころ健診（被災者支援）  
まごころ健診の受診者数は、前年同期の18人に対し、当期（4～7月）は7人であった。
- (4) 婦人科検査受診状況  
婦人科検査受診者数は1,665人（受診率68.3%）で、前年同期の1,608人（同70.2%）よりも57人増加したものの受診率は1.9%低下した。
- (5) 乳房検査受診状況  
乳房検査受診者数は1,885人（同77.4%）で、前年同期の1,775人（同77.5%）よりも110人増加した。なお、画像診断はエコーが1,169人（前年同期：998人）、マンモグラフィが752人（前年同期：798人）であった。

#### 3. 検査結果状況

健診結果の検査対象疾患別判定の占率状況は、次の表に示したとおりである。

なお、「精密検査が必要」と判定された占率が最も高いと認められた疾患は男性では眼科（5.8%）、女性では婦人科（7.1%）であった。

また、生活習慣病といわれる肥満、脂質異常症（高コレステロール血症、高中性脂肪血症）、肝機能障害、耐糖能障害は、男女差があるものの「C」判定が多く、食事、運動を中心とする生活習慣の影響が示唆された。

検査対象疾患別判定占率一覧表

疾患名	検査方法	性別	疾患別判定占率 (%)				癌の発見数 (例)
			C	D1	D2	E	
肥満(過体重)	身体測定	男女	58.2	0.0	0.0	0.0	
		男女	51.5	0.0	0.0	0.0	
呼吸器疾患	胸部X線	男女	24.4	0.0	0.9	0.4	
		男女	11.0	0.0	1.8	0.2	
高血圧	血圧測定	男女	9.8	0.4	0.0	14.9	
		男女	3.7	0.2	0.0	8.9	
高コレステロール	血液生化学	男女	12.4	0.9	0.0	1.1	
		男女	15.6	0.9	0.0	1.5	
高中性脂肪	血液生化学	男女	17.4	1.3	0.0	6.2	
		男女	3.5	0.4	0.0	5.4	
高尿酸	血液生化学	男女	19.0	3.7	0.0	2.4	
		男女	1.3	0.4	0.0	0.0	
心電図異常	心電図	男女	19.3	0.1	2.6	0.5	
		男女	11.5	0.1	1.8	0.1	
腎・尿路疾患	腹部超音波 尿検査	男女	23.0	0.0	4.9	0.3	腎臓癌 4
		男女	20.4	0.0	4.2	0.0	
食道・胃疾患	胃部X線 胃部内視鏡	男女	12.0	0.2	5.1	0.1	胃癌 5 食道癌 2
		男女	16.4	0.0	3.8	0.0	
十二指腸疾患	胃部X線	男女	2.8	0.0	0.2	0.0	
		男女	0.9	0.0	0.3	0.0	
胆石・胆のうポリープ	腹部超音波	男女	20.9	0.0	1.2	0.1	
		男女	17.1	0.0	0.8	0.0	
肝機能障害(脂肪肝含)	血液生化学	男女	48.5	0.0	0.9	0.8	
		男女	18.7	0.0	0.5	0.3	
糖尿病(耐糖能障害)	血液生化学	男女	17.7	4.0	1.1	4.6	
		男女	12.2	1.2	1.1	1.7	
眼科	眼底・眼圧	男女	20.1	0.0	5.8	4.3	
		男女	15.7	0.0	4.4	2.4	
肛門・大腸疾患	便潜血反応	男女	0.0	0.0	5.3	0.0	大腸癌 4
		男女	0.0	0.0	3.2	0.0	
前立腺疾患	P S A検査	男女	0.0	0.0	5.3	0.0	前立腺癌 2
		男女	-	-	-	-	
婦人科	婦人科	男女	-	-	-	-	
		男女	14.1	1.7	7.1	1.8	
乳房疾患	触診・超音波 マンモグラフィ	男女	-	-	-	-	乳癌 2
		男女	2.0	0.0	0.7	0.0	
その他の疾患		男女	11.5	0.0	1.4	0.2	
		男女	11.9	0.0	2.3	0.9	

- (注) 1. 疾患別判定占率 (%) は、総受診者数に対する割合。ただし、腹部エコー検査 (受診率80.2%)、P S A検査 (同34.9%)、婦人科検査 (同68.5%)、および乳房検査 (同77.6%) はそれぞれの受診者に対する割合
2. 判定区分 (平成16年度より日本人間ドック学会に準拠)  
 C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要  
 D1 : 治療が必要 D2 : 精密検査が必要 E : 継続治療

### Ⅲ-1 貸借対照表総括表

平成24年7月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	130,584,867	73,488,965	57,095,902
前払金	13,357,761	4,026,327	9,331,434
未収金	80,829,940	945,000	79,884,940
貯蔵品	2,936,136	0	2,936,136
流動資産合計	227,708,704	78,460,292	149,248,412
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	0	0
定期預金基本	250,000,000	250,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	101,906,016	62,166,839	39,739,177
機器購入積立預金	68,267,817	23,792,229	44,475,588
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	174,173,833	89,959,068	84,214,765
その他の固定資産			
建物附属設備	28,837,154	6,427,394	22,409,760
器具備品	86,339,942	27,927,762	58,412,180
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	15,510	0
元入金	0	176,262,865	△ 176,262,865
その他の資産合計	116,056,306	211,497,231	△ 95,440,925
無形固定資産			
ソフトウェア	19,322,851	13,240,548	6,082,303
無形固定資産合計	19,322,851	13,240,548	6,082,303
固定資産合計	559,552,990	564,696,847	△ 5,143,857
<b>資産合計</b>	<b>787,261,694</b>	<b>643,157,139</b>	<b>144,104,555</b>
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,681,700	5,602,950	78,750
未払金	65,114,958	20,333,902	44,781,056
未払法人税等	39,900	16,600	23,300
賞与引当金	11,476,711	6,152,641	5,324,070
流動負債合計	82,313,269	32,106,093	50,207,176
2. 固定負債			
退職給付引当金	101,906,016	62,166,839	39,739,177
固定負債合計	101,906,016	62,166,839	39,739,177
<b>負債合計</b>	<b>184,219,285</b>	<b>94,272,932</b>	<b>89,946,353</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	603,042,409	548,884,207	54,158,202
(うち基本財産への充当額)	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>603,042,409</b>	<b>548,884,207</b>	<b>54,158,202</b>
<b>負債・正味財産</b>	<b>787,261,694</b>	<b>643,157,139</b>	<b>144,104,555</b>

## Ⅲ-2 貸借対照表（一般事業）

平成24年7月31日現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度 (平成24年3月31日)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	73,488,965	148,457,494	△ 74,968,529
前払金	4,026,327	4,092,327	△ 66,000
未収金	945,000	0	945,000
流動資産合計	78,460,292	152,549,821	△ 74,089,529
2. 固定資産			
基本財産			
普通預金基本	0	0	0
定期預金基本	250,000,000	250,000,000	0
基本財産合計	250,000,000	250,000,000	0
特定資産			
退職給付引当預金	62,166,839	51,985,245	10,181,594
機器購入積立預金	23,792,229	23,792,229	0
50周年記念積立預金	4,000,000	4,000,000	0
特定資産合計	89,959,068	79,777,474	10,181,594
その他の固定資産			
建物附属設備	6,427,394	6,726,189	△ 298,795
器具備品	27,927,762	27,334,930	592,832
電話加入権	863,700	863,700	0
リサイクル預託金	15,510	15,510	0
元入金	176,262,865	112,002,775	64,260,090
その他の資産合計	211,497,231	146,943,104	64,554,127
無形固定資産			
ソフトウェア	13,240,548	14,043,015	△ 802,467
無形固定資産合計	13,240,548	14,043,015	△ 802,467
固定資産合計	564,696,847	490,763,593	73,933,254
資産合計	643,157,139	643,313,414	△ 156,275
<b>Ⅱ 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	5,602,950	5,460,458	142,492
未払金	20,333,902	25,327,224	△ 4,993,322
未払法人税等	16,600	50,000	△ 33,400
賞与引当金	6,152,641	0	6,152,641
流動負債合計	32,106,093	30,837,682	1,268,411
2. 固定負債			
退職給付引当金	62,166,839	36,228,213	25,938,626
固定負債合計	62,166,839	36,228,213	25,938,626
負債合計	94,272,932	67,065,895	27,207,037
<b>Ⅲ 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	548,884,207	576,247,519	△ 27,363,312
（うち基本財産への充当額）	(250,000,000)	(250,000,000)	( 0)
正味財産合計	548,884,207	576,247,519	△ 27,363,312
負債・正味財産	643,157,139	643,313,414	△ 156,275

### Ⅲ－３ 貸借対照表（特別事業）

平成24年7月31日現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度 (平成24年3月31日)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	57,095,902	63,424,176	△ 6,328,274
前払金	9,331,434	9,961,434	△ 630,000
未収金	79,884,940	40,279,145	39,605,795
貯蔵品	2,936,136	2,049,347	886,789
流動資産合計	149,248,412	115,714,102	33,534,310
2. 固定資産			
特定資産			
退職給付引当預金	39,739,177	23,000,000	16,739,177
機器購入積立預金	44,475,588	44,475,588	0
特定資産合計	84,214,765	67,475,588	16,739,177
その他の固定資産			
建物附属設備	22,409,760	23,096,809	△ 687,049
器具備品	58,412,180	69,486,287	△ 11,074,107
元入金	△ 176,262,865	△ 112,002,775	△ 64,260,090
その他の資産合計	△ 95,440,925	△ 19,419,679	△ 76,021,246
無形固定資産			
ソフトウェア	6,082,303	7,064,604	△ 982,301
無形固定資産合計	6,082,303	7,064,604	△ 982,301
固定資産合計	△ 5,143,857	55,120,513	△ 60,264,370
資産合計	144,104,555	170,834,615	△ 26,730,060
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	78,750	0	78,750
未払金	44,781,056	43,303,726	1,477,330
未払法人税等	23,300	70,000	△ 46,700
賞与引当金	5,324,070	0	5,324,070
流動負債合計	50,207,176	43,373,726	6,833,450
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,739,177	30,897,628	8,841,549
固定負債合計	39,739,177	30,897,628	8,841,549
負債合計	89,946,353	74,271,354	15,674,999
<b>III 正味財産の部</b>			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	54,158,202	96,563,261	△ 42,405,059
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	54,158,202	96,563,261	△ 42,405,059
負債・正味財産	144,104,555	170,834,615	△ 26,730,060

## IV-1 正味財産増減計算書総括表

平成24年4月1日から平成24年7月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計 額	一般事業会計	特別事業会計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	36,097	36,097	0
運用財産運用収入	0	0	0
寄附金収入	100,000,000	100,000,000	0
ウェルネス事業収入	210,920	210,920	0
健診事業収入	184,253,433	0	184,253,433
雑収入	1,275,878	1,000,878	275,000
経常収益計	285,776,328	101,247,895	184,528,433
(2) 経常費用			
事業費			
体力医学研究事業費	38,496,946	38,496,946	0
研究助成事業費	4,942,658	4,942,658	0
ウェルネス事業費	17,310,988	17,310,988	0
管理費	67,826,660	67,826,660	0
健診事業費	226,910,192	0	226,910,192
経常費用計	355,487,444	128,577,252	226,910,192
当期経常増減額	△ 69,711,116	△ 27,329,357	△ 42,381,759
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	17,355	17,355	0
経常外費用計	17,355	17,355	0
当期経常外増減額	△ 17,355	△ 17,355	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 69,728,471	△ 27,346,712	△ 42,381,759
法人税、住民税及び事業税	39,900	16,600	23,300
当期一般正味財産増減額	△ 69,768,371	△ 27,363,312	△ 42,405,059
一般正味財産期首残高	672,810,780	576,247,519	96,563,261
一般正味財産期末残高	603,042,409	548,884,207	54,158,202
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>603,042,409</b>	<b>548,884,207</b>	<b>54,158,202</b>

## IV-2 事業費及び管理費明細書（一般事業）

平成24年4月1日から平成24年7月31日まで

（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>I 体力医学研究事業費</b>	<b>38,496,946</b>	<b>Ⅲ ウェルネス事業費</b>	<b>17,310,988</b>
1. 人件費	23,846,591	1. 人件費	10,740,891
役員給料	20,363,482	役員給料	9,402,276
法定福利費	2,913,515	法定福利費	1,225,360
福利厚生費	569,594	福利厚生費	113,255
2. 研究費	14,650,355	2. 事業費	6,570,097
被災者支援	525,934	光熱水費	160,060
旅費交通費	191,222	賃借料	2,826,016
通信費	420,769	不動産管理費	1,671,920
印刷費	80,855	通信印刷費	117,189
備品消耗品費	350,729	備品消耗品費	18,232
図書購入費	1,523,404	フィットネス費	637,429
研究調査費	347,963	減価償却費	840,425
研究諸費	921,494	その他費用	298,826
光熱水費	420,446	<b>事業費合計</b>	<b>60,750,592</b>
賃借料	5,711,880	<b>Ⅳ 管理費</b>	<b>67,826,660</b>
不動産管理費	2,072,788	1. 人件費	46,236,633
機器保守管理費	558,118	役員給料	11,844,520
リース料	94,180	法定福利費	1,722,674
減価償却費	627,468	福利厚生費	578,172
その他費用	803,105	退職給付引当金繰入額	25,938,626
<b>Ⅱ 研究助成事業費</b>	<b>4,942,658</b>	賞与引当金繰入額	6,152,641
1. 助成金	4,500,000	2. 事務費	21,590,027
研究助成金	4,500,000	会議費	1,231,691
2. 事務費	442,658	賃借料	3,178,008
論文集刊行費	0	不動産管理費	1,950,572
事務費	442,658	リース料	608,250
		光熱水費	90,942
		通信印刷費	973,811
		調査・諸謝金	1,091,437
		備品消耗品費	273,377
		システム関係費	4,304,046
		減価償却費	4,822,082
		租税公課	1,986,507
		その他費用	1,079,304
		<b>事業費及び管理費合計</b>	<b>128,577,252</b>

### IV-3 事業費明細書（特別事業）

平成24年4月1日から平成24年7月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
健 診 事 業 費	226,910,192
1. 人 件 費	138,376,423
役 職 員 給 料	101,080,186
法 定 福 利 費	8,994,248
福 利 厚 生 費	3,891,666
派 遣 経 費	2,388,877
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	16,697,376
賞 与 引 当 金 繰 入 額	5,324,070
2. 健 診 費	88,533,769
医 薬 品 費	2,939,991
材 料 費	2,375,450
備 品 消 耗 品 費	2,402,853
修 繕 費	1,374,495
機 器 保 守 契 約 費	4,593,904
通 信 費	3,607,317
印 刷 費	1,889,300
業 務 開 拓 費	3,637,292
研 究 助 成 費	1,103,599
リ ー ス 料	5,406,920
賃 借 料	17,438,168
不 動 産 管 理 費	10,310,153
光 熱 水 費	1,567,852
嘱 託 医 関 係 費	68,763
シ ス テ ム 関 係 費	3,221,731
減 価 償 却 費	13,632,457
租 税 公 課	1,372,031
外 注 費	10,064,781
そ の 他 費 用	1,526,712
特 別 事 業 費 合 計	226,910,192

#### IV-4 計算書類に関する注記

1. この計算書類は「新公益法人会計基準」によって作成されています。

#### 2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法によります。

(2) 賞与引当金の計上基準

支給見込額の当期負担分を計上しています。

(3) 退職給付引当金の計上基準

退職金規定に基づく期末要支給額により計上しています。

(4) 消費税等会計処理について

税抜き処理によります。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によります。

#### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
定期預金	250,000,000	0	0	250,000,000
小 計	250,000,000	0	0	250,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	74,985,245	26,920,771	0	101,906,016
機器購入積立預金	68,267,817	0	0	68,267,817
50周年記念積立預金	4,000,000	0	0	4,000,000
小 計	147,253,062	26,920,771	0	174,173,833
合 計	397,253,062	26,920,771	0	424,173,833

#### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建物附属設備	46,804,817	17,967,663	28,837,154
器具備品	376,126,611	289,786,669	86,339,942
小 計	422,931,428	307,754,332	115,177,096
ソフトウェア	34,660,630		19,322,851
合 計	457,592,058	307,754,332	134,499,947

#### 5. リース料

	1年以内	1年超	合 計
	円	円	円
未経過リース料期末残高相当額	13,254,102	15,004,336	28,258,438

# V. 財 産 目 録

平成24年7月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
現金預金	1,001,855	
普通預金	129,583,012	
未収金		
健診料	80,829,940	
前払金	13,357,761	
貯蔵品		
材料	686,653	
医薬品	406,483	
その他	1,843,000	
流動資産合計		227,708,704
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金	250,000,000	
基本財産合計	250,000,000	
(2) 特定資産		
退職給付引当預金	101,906,016	
機器購入積立預金	68,267,817	
50周年記念積立預金	4,000,000	
特定資産合計	174,173,833	
(3) その他の固定資産		
建物附属設備	28,837,154	
器具備品	86,339,942	
電話加入権	863,700	
リサイクル預託金	15,510	
その他の固定資産合計	116,056,306	
(4) 無形固定資産		
ソフトウェア	19,322,851	
無形固定資産合計	19,322,851	
固定資産合計		559,552,990
<b>資産合計</b>		<b>787,261,694</b>
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
未払金(健診事業費等)	65,114,958	
未払法人税等	39,900	
預り金(所得税住民税等)	5,681,700	
賞与引当金	11,476,711	
流動負債合計		82,313,269
2. 固定負債		
退職給付引当金	101,906,016	
固定負債合計		101,906,016
<b>負債合計</b>		<b>184,219,285</b>
<b>正味財産</b>		<b>603,042,409</b>

以上のとおり相違ありません。

平成 24 年 9 月 25 日

公益財団法人 明治安田厚生事業団

理 事 長 米 田 克 巳

理 事 勝 川 史 憲

加 藤 壹 康

加 藤 信 夫

蔵 本 博 行

栗 原 敏

萩 裕美子

湊 久美子

宮 坂 信 之

内 田 賢

近 藤 紀 一

須 山 靖 男

以上調査の結果、法令および寄付行為にもとづき正確であることを認めます。

平成 24 年 9 月 25 日

監 事 鈴 木 竹 夫  
河 伸 洋

# 独立監査人の監査報告書

平成 24 年 8 月 21 日

公益財団法人 明治安田厚生事業団

理事長 米 田 克 巳 殿

川上公認会計士事務所

公認会計士 川上 泰江



白子公認会計士事務所

公認会計士 白子 知幸



私たちは、財団法人明治安田厚生事業団の平成24年4月1日から平成24年7月31日までの第51期事業年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 記

### I 財務諸表

1. 一般事業会計の貸借対照表
2. 特別事業会計の貸借対照表
3. 貸借対照表総括表
4. 正味財産増減計算書総括表
5. 財産目録

### II 収支計算書

1. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私たちの責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私たちは、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私たちの意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人明治安田厚生事業団の第51期事業年度末日現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人明治安田厚生事業団の第51期事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人明治安田厚生事業団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## Ⅵ. 評議員会に関する事項

財団法人 明治安田厚生事業団

平成 24 年 6 月 11 日（月曜日）午後 5 時 00 分、東京都港区北青山 3 - 6 - 8  
青山ダイヤモンドホールにおいて、平成 24 年度評議員会を開催

### 会 議 の 目 的 事 項

- 第 1 号議案 理事及び監事の選任の件
  - 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告及び決算の件
  - 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画及び収支予算の件
  - 第 4 号議案 新公益財団法人の定款（案）附則の変更の件
- 
- 第 1 号報告 評議員の委嘱の件
  - 第 2 号報告 公益認定申請の件

### 総評議員数及び出席評議員数

- (1) 総評議員数 11 人
- (2) 出席評議員数 11 人（うち委任状によるもの 5 人）

### 出席評議員

内田 賢氏、江橋 博氏、大島雄次氏、柴田 博氏、上坊敏子氏、三好裕司氏

### みなし出席評議員

浅見高明氏、下門顯太郎氏、菅原弘子氏、仲村英一氏、波多健治郎氏

### 議 事

1. 寄付行為第 31 条の規定に従って、評議員の互選により評議員柴田 博氏を議長に選任し、議長は寄付行為第 32 条の規定に従い、評議員内田 賢氏及び評議員上坊敏子氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第 1 号議案「理事及び監事の選任の件」を上議し、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

## 理事

### ・ 辞任者

香川芳子氏、芝山秀太郎氏、福島幸彦氏

### ・ 任期満了者

馬詰良樹氏、佐藤安弘氏、貴島政邑氏

### ・ 再任者

蔵本博行氏、栗原 敏氏、宮坂信之氏、米田克巳氏

### ・ 新任者

勝川史憲氏、加藤壹康氏、加藤信夫氏、萩 裕美子氏、湊 久美子氏、内田 賢氏、  
近藤紀一氏

## 監事

### ・ 退任者

富林和雄氏

### ・ 新任者

河 伸洋氏、鈴木竹夫氏

3. 議長は、第2号議案「平成23年度事業報告及び決算の件」を上議し、まず平成23年度事業報告につき、各事業別に主要業績を列挙して報告するとともに、当事業団の業績は、健診事業中心の費用削減により、大幅な改善ができたものの2年連続の赤字を計上した旨を説明した。

次に、平成23年度決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書及び財産目録等の各案を各評議員に配付し、主要業績について説明した。

引き続き監事富林和雄氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨を報告した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

4. 議長は、第3号議案「平成24年度事業計画及び収支予算の件」を上議し、まず平成24年度の事業計画の概要について説明した。

次いで予算案を配付して、収入、支出の部及び収支差額等主要事項を中心に説明した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

5. 議長は、第2号議案「公益財団法人明治安田厚生事業団 定款（案）の附則の変更について」を上議し、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

6. 議長は、第1号報告「評議員の委嘱の件」を上議し、平成24年度の評議員の退任、再任、新任について理事会に上議することを報告した。

7. 議長は第2号報告「公益認定申請について」を上議し、本日現在いまだ審査中の状況であり、公益法人への移行認定は決定していない旨を報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後5時30分、議長は閉会を宣した。

## Ⅶ. 理事会に関する事項

財団法人 明治安田厚生事業団

平成 24 年 6 月 11 日（月曜日）午後 5 時 30 分、東京都港区北青山 3 - 6 - 8  
青山ダイヤモンドホールにおいて、平成 24 年度理事会を開催

### 会 議 の 目 的 事 項

- 第 1 号議案 評議員の委嘱の件
- 第 2 号議案 理事長、業務執行理事、事務局長の選定の件
- 第 3 号議案 平成 23 年度事業報告及び決算の件
- 第 4 号議案 新公益財団法人の定款（案）附則の変更の件
- 第 1 号報告 理事及び監事の選任の件
- 第 2 号報告 公益認定申請の件

### 総理事数及び出席理事数

- (1) 総理事数 11 人
- (2) 出席理事数 11 人（うち委任状によるもの 3 人）

### 出席理事

蔵本博行氏、栗原 敏氏、芝山秀太郎氏、宮坂信之氏、貴島政邑氏、須山靖男氏、  
福島幸彦氏、米田克巳氏

### みなし出席理事

馬詰良樹氏、香川芳子氏、佐藤安弘氏

### 議 事

1. 開会に先立ち、福島事務局長より、現在の総理事数 11 人のうち、本日の出席理事数は 11 人であり、寄付行為第 22 条並びに第 24 条の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長米田克巳氏は、寄付行為第 21 条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣

した後、寄付行為第26条の規定に従って、理事須山靖男氏及び理事福島幸彦氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを受諾した。

3. 議長は、第1号議案「評議員の委嘱の件」を上議し、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

・任期満了退任者

浅見高明氏、仲村英一氏

・再任者

江橋 博氏、柴田 博氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏、菅原弘子氏、三好裕司氏

・新任者

勝村俊仁氏、阪本要一氏

4. 議長は、第2号議案「理事長、業務執行理事、事務局長の選定の件」を上議し、議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

・理事長

米田克巳氏

・業務執行理事

近藤紀一氏

・事務局長

池辺 洋氏

5. 議長は、第3号議案「平成23年度事業報告及び決算の件」を上議し、まず平成23年度事業報告につき、各事業別に主要業績を列挙して報告するとともに、当事業団の業績は、健診事業中心の費用削減により、大幅な改善ができたものの2年連続の赤字を計上することになった旨を説明した。

次に、平成23年決算に関し、議長は、貸借対照表、正味財産増減計算書、事業費明細書及び財産目録等の各案を各理事に配付し、主要業績について説明した。

引き続き監事富林和雄氏は、これらの諸表を厳正に監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めた旨を報告した。

議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

6. 議長は、第4号議案「公益財団法人明治安田厚生事業団 定款（案）の附則の変更について」を上議し、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。

7. 議長は第1号報告「理事及び監事の選任の件」を上議し、評議員会で別紙のとおり承認可決されたことを報告した。

・理事

内田 賢氏、勝川史憲氏、加藤壹康氏、加藤信夫氏、蔵本博行氏、栗原 敏氏、  
近藤紀一氏、萩裕美子氏、湊久美子氏、宮坂信之氏、米田克巳氏

・監事

河 伸洋氏、鈴木竹夫氏

8. 議長は第2号報告「公益認定申請について」を上議し、本日現在いまだ審査中の状況であり、公益法人への移行認定は決定していない旨を報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後6時00分、議長は閉会を宣した。

## Ⅷ. 出版に関する事項

第51期（平成24年4～7月）刊行物

なし

## Ⅸ. 寄附に関する事項

第51期（平成24年4～7月）は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
平成24年5月10日	100,000,000

# X. 公益財団法人 明治安田厚生事業団 第1期（平成24年8月～平成25年3月）事業計画

## I. 基本方針

新公益財団法人として初の事業年度となる第1期（平成24年8月～平成25年3月）は、引き続き広く一般の健康増進に寄与するため、体力医学研究事業、ウェルネス事業、健康調査事業を三位一体で推進する態勢を強化するとともに、公益活動の一環として東日本大震災の被災者支援を行う。

なお、平成24年4月より、公益法人への移行を控え事業を再編し、研究助成事業を体力医学研究事業に編入するとともに、健診事業を健康調査事業にあらためている。

### 1. 体力医学研究事業

運動がメンタルヘルスに及ぼす影響について、基礎実験研究と応用実践研究を推進し、学術書「運動とメンタルヘルス」の発刊ならびに論文作成を目指す。さらに、健康調査事業の研究資源を活用した研究推進体制の確立を図る。

また、健康医科学研究助成を継続実施し、健康科学分野に関わる若手の研究者を支援するとともに、東日本大震災の被災者に対する支援活動として、運動を活用したメンタルヘルスケアを引き続き実施する。

### 2. ウェルネス事業

ウェルネス事業では、ウェルネス開発室が科学的な健康づくりサービスを開発・提供し、その成果を広く紹介・活用することによって、健康増進活動を推進する。特に「健診からはじめる健康づくり」として健診結果に応じたより早期の健康づくり支援を推進し、生活習慣病の予防改善効果を検証する。さらに、がんやメンタルヘルスなど社会のニーズに応える新しい健康づくりプログラムを検討する。加えて、東日本大震災の被災者に対する健康保持を目的とする支援活動を地域と連携して実施する。

### 3. 健康調査事業

健康調査事業における調査研究活動では、学術室との連携を体系化するとともに、体力医学研究事業ならびにウェルネス事業との三位一体態勢により、人間ドックの検査結果を基にした健康事象に関する学術活動の展開を目指す。さらに、時代に即した調査研究テーマの策定を図る。また、これらの学術活動を通じて医療専門スタッフの知識・技術の向上を目指す。一方、人間ドックでは、健診精度、健診技術の一層の向上、ならびに住民健診を推進するための態勢を確立。加えて、東日本大震災の被災者に対する「まごころ健診」を継続実施する。

# XI. 実行計画

## 1. 体力医学研究事業

1. コアスタディー「運動を活用した心身の健康増進に関する研究」
  - ア. 基礎実験研究および応用実践研究の推進
  - イ. 50周年記念事業の学術書「運動とメンタルヘルス」の発刊
2. 学術室との連携活動
  - ア. 学術室との連携態勢の構築
  - イ. 健康調査事業の研究リソースを活用した仕組みの整備
3. 健康医科学研究助成
  - ア. 第29回健康医科学研究助成の実施
  - イ. 第28回健康医科学研究助成論文集の発行および論文優秀賞の選定
4. 東日本大震災被災者の健康増進支援
  - ア. 被災者に対する運動を活用した健康増進支援の実施

## 2. ウェルネス事業

1. 「健診からはじめる健康づくり」プログラムの開発
  - ア. 血管の健康づくりプログラムの開発
  - イ. 女性がん健診受診者の新規プログラムの開発
2. 健康づくりプログラムの普及啓発活動の推進
  - ア. 健康づくり講演会・測定会の開催および講師派遣
  - イ. 学会・講習会への発表および参加
3. 学術室との連携活動の推進
  - ア. メンタルヘルス改善を目的としたプログラムの開発
4. 独自性のある被災者支援活動の展開
  - ア. まごころ健診受診者に対する健康づくり支援
  - イ. 都内避難者に対する健康づくり支援

### 3. 健康調査事業

#### ◎調査研究

##### 1. 調査研究活動

- ア. 学術室との連携による「メンタルヘルス」に関する問診項目の確立およびプレテストの実施
- イ. 生活習慣病に着目した健康づくりのための調査研究デザインの構築

##### 2. 人間ドックデータの活用

- ア. ホームページ等を利用した健康事象に関する情報の提供
- イ. 人間ドックの検査・問診結果を活用した学術活動の展開

#### ◎人間ドック

##### 1. 業務の効率化・推進事項

- ア. 人間ドック、生活習慣病健診などの健診コースに対応した健診スタッフの効率的配置
- イ. 既契約団体および新規契約団体に対する多種にわたる健診コースの周知徹底
- ウ. 新規オプション検査の探索と、オプション検査（乳腺・甲状腺など）の積極的勧奨
- エ. 予約代行会社の健診コースに即した態勢の整備
- オ. インターネット、モバイルを含めた予約方法の簡便化

##### 2. 東日本大震災被災者の健康増進支援

- ア. まごころ健診の継続実施

XII. 第1期（平成24年8月～平成25年3月） 収支予算書

＜単位：千円＞

科 費 目	事業団計	公益目的事業				その他事業		法人会計
		体力医学研究事業	ウェルネス事業	(調査研究)	健康調査事業			
					(人間ドック)	健康調査事業計		
経常収益	592,368	98,000	37,100	(7)	(415,478)	415,485	41,784	
財産運用益等	897	0	100	(7)	(6)	13	784	
健康調査事業収益	415,472	0	0	(0)	(415,472)	415,472	0	
受取寄付金	176,000	98,000	37,000	(0)	(0)	0	41,000	
経常費用	574,061	97,627	36,970	(192,859)	(205,765)	398,624	40,840	
人件費	319,512	57,854	25,459	(105,684)	(113,458)	219,142	17,057	
(出向者戻入金)	5,588	0	0	(1,827)	(1,961)	3,788	1,800	
(職員給与)	130,935	42,148	16,709	(31,689)	(34,021)	65,710	6,369	
(役員報酬)	13,164	4,188	3,320	(2,020)	(2,168)	4,188	1,467	
(法定福利費)	27,864	6,586	2,395	(8,683)	(9,322)	18,006	877	
(福利厚生費)	10,547	2,130	587	(3,428)	(3,680)	7,108	722	
(その他の人件費)	131,413	2,801	2,449	(58,036)	(62,305)	120,341	5,822	
物件費	254,549	39,773	11,511	(87,176)	(92,307)	179,483	23,783	
賃借料	58,886	11,424	5,653	(17,054)	(18,308)	35,362	6,447	
不動産管理費	31,224	3,348	3,344	(9,949)	(10,681)	20,630	3,901	
リース料	9,394	536	373	(3,662)	(3,931)	7,593	892	
外注費	17,935	0	0	(1,794)	(16,141)	17,935	0	
研究助成費	29,500	15,000	0	(14,500)	(0)	14,500	0	
その他物件費	107,611	9,465	2,141	(40,217)	(43,246)	83,463	12,543	
当期経常増減額	18,307	373	130	(▲)192,853	(209,713)	16,860	944	

## 役員名簿

理事長	米田克巳	
理事	勝川史憲	慶應義塾大学教授
	加藤壹康	キリンホールディングス株式会社相談役
	加藤信夫	医療法人社団亮正会理事長
	蔵本博行	北里大学名誉教授
	栗原敏	学校法人慈恵大学理事長・東京慈恵会医科大学学長
	萩裕美子	東海大学教授
	湊久美子	和洋女子大学教授
	宮坂信之	東京医科歯科大学教授・医学部附属病院長
	内田賢	
	近藤紀一	
	須山靖男	
監事	鈴木竹夫	公認会計士
	河伸洋	明治安田生命保険相互会社関連事業部長

## 評 議 員 名 簿

江 橋 博	東亜大学大学院客員教授
大 島 雄 次	明治安田生命保険相互会社特別顧問
勝 村 俊 仁	東京医科大学主任教授 副学長
阪 本 要 一	東京慈恵会医科大学教授 晴海トリトンクリニック所長
柴 田 博	人間総合科学大学保健医療学部学部長・大学院教授
芝 山 秀太郎	鹿屋体育大学名誉教授
下 門 顯太郎	東京医科歯科大学大学院教授
上 坊 敏 子	社会保険相模野病院婦人科腫瘍センター長
菅 原 弘 子	福祉自治体ユニット事務局長
波 多 健治郎	明治安田生命保険相互会社特別顧問
三 好 裕 司	明治安田生命健康保険組合東京診療所長